

議 平生町 議会だより

第 117 号
2010 年 10 月 22 日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



たいこのリズムでポンチャリン（平生幼稚園）

9 月
議会報告
いっぱい質問

定例会.....	2ページ
委員会審査報告.....	4ページ
いっぱい質問.....	6ページ
研修報告.....	12ページ

平生小学校建設進む



平成22年第4回平生町議会定例会が、9月13日から22日までの10日間の日程で開かれ、9月議会は、21年度の決算認定議会有り、予算が適正に執行されているか審査します。

補正予算6件、事件1件、認定10件、同意2件、要望決議1件の計20件です。いずれの議案も全会一致または賛成多数で承認されました。一般質問は6人の議員が登壇し、町政の諸課題への取り組みについて質問しました。

平成22年度補正予算 1億4500万円を増額

平成22年度一般会計総額は1億4500万円が増額され48億9900万円となります。

▽町債
3711万円増額

主な歳入

- ▽町税 1800万円減額
- ▽地方交付税 2465万円減額
- ▽繰越金 1億4281万円増額

主な歳出

- ▽町財政基金積立金 9694万円増額
- ▽社会福祉総務費 1208万円増額
- ▽港湾建設費 1739万円減額
- ▽漁港建設事業費 838万円増額

平成21年度歳入・歳出決算を認定 小・中学校耐震改修費 8億1760万円

平成21年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が58億556万円、歳出総額が55億6824万円、差引き2億732万円となり、繰越明許費繰越額6451万円を除いた実質収支額は1億7281万円となりました。

歳入で21・6%、歳出で19・8%と、それぞれ増額決算となっております。歳入額の増加により実質収支は60・7%増加しています。

その理由は平成21年度の主な建設事業として、海岸保全事業、漁村再生交付金事業、平生小学校普通教室棟改築事業と平生中学校屋内運動場耐震改修事業が増額されたものです。

単年度収支については実質収支額の増額により6526万円の黒字となっております。

実質単年度収支についても1億1565万円の黒字となっております。これは基金への積立額が取崩し額を4997万円上回っていることが要因です。

また、財政基金についても、過去最小の基金残高であった、平成19年度末の1億6951万円と比較すると1億934万円増加して、2億7885万円となっております。

財政状況は微少ながら上向き傾向がみられます。

県下一高い水道料金へ引き続き補助金を求める

山口県は財政難を理由に、柳井地域（柳井広域圏と岩国市由宇町）の水道料金に対する補助金計画を1年早め、廃止の方針を示しています。この地域の水道料金は県下で最も高く、その理由は弥栄ダムからの水道供給事業に莫大な工事費がかかっているからです。過去の経緯を含め、山口県には真摯な対応を求めます。平生町議会は住民生活の安定を図る観点から、要望決議を全会一致で採択しました。

柳井地域広域水道用水供給事業に係る水道料金の安定に関する要望決議

山口県知事 二井 関 成 様
山口県議会議長 島 田 明 様

柳井地域は、水道用水を将来にわたって安定的に確保するため、昭和57年に柳井地域広域水道企業団を設立し、広島県境の弥栄ダムから遠距離導水を行う広域水道用水供給事業を実施したところであります。お陰をもちまして、今日まで上水の安定供給が図られております。

しかしながら、本事業には約590億円という膨大な建設事業費がかかり、企業団構成市町である柳井市、岩国市、周防大島町、上関町、田布施町及び平生町は、今も企業団への出資償還金や出資補助金に多大な財政負担を必要としています。

また、企業団から水道水の供給を受けている当地域の水道事業及び簡易水道事業は、県内で最も高い水準の水道料金を徴収しているにもかかわらず、一般会計からの繰入金なしでは運営できない状況にあります。

山口県におかれましては、こうした当地域の特殊事情に配慮され、県内の水道料金格差を是正し県民生活の安定を図ることを目的に、平成14年度から当地域の用水供給事業及び末端給水事業に対して財政支援をいただいているところです。

この水道事業高料金対策費補助金は、当地域の水道料金の安定を図る上で、極めて重要な役割を果たしております。万が一補助制度が廃止された場合は、水道事業の経営を根幹から揺るがすとともに、水道料金の更なる大幅な値上げを余儀なくされ、住民生活に深刻な影響を及ぼします。

山口県並びに山口県議会におかれましては、当地域の水道事業の財政事情をご賢察の上、住民生活の安定を図る観点から、本補助制度の継続について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

以上、決議する。

平成22年9月22日

山口県平生町議会



中嶋一成さん

監査委員再任に同意

平成22年11月15日をもって任期満了となる監査委員、中嶋一成さんの再任に同意しました。任期は平成26年11月15日までです。4年間の経験を生かされて、今後の活躍を期待します。



西村千秋さん

教育委員会委員任命に同意

平成22年10月31日をもって勇退される、田村伸夫さんに代わり、教育委員会として西村千秋さんの任命に同意しました。任期は平成26年10月31日までです。学校教育、社会教育双方に通じる経験、見識を持たれ、今後の活躍が期待されます。

常任委員会審査報告

介護保険調整交付金で申請ミス

総務厚生常任委員会

平成22年9月13日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月15日に慎重に審議しました。その結果すべてを全会一致で承認しました。主な審議経過は次のとおりです。

ているか。

答 お知らせ版やホームページで周知を図っています。

質 熊南総合事務組合への負担金を減額しているが、事務組合の予算上問題はなにか。

補正予算

質 町債の中で、臨時財政対策債の借入先はどこか。

答 21年度までは、財政融資と縁故債で借り入れています。

質 退職手当の負担金は、今年度の退職者に対するものか。

答 将来の大量退職に備えて計画的に積み立てるものです。

質 太陽光発電システム設置費補助の年次計画を立てているが町民への周知はどのようにし

決算認定

質 寄附金の内訳は。

答 ふるさと納税が23万5000円、篤志家寄付16万円、特定寄附金は図書購入費として眞工金属株式会社からです。

質 敬老祝金の内訳と今後の方針は。

答 85歳が85人、90歳が43人、95歳が10人、100

歳が3人で、85歳・90歳・95歳が1万円、100歳が2万円となっています。

質 平成17年から今の制度となっており、今後も同様に進めていきます。

質 保健衛生費の負担金の不用額の要因は何か。

答 21年度は新型インフルエンザの流行により、柳井地域休日夜間応急診療所の受診者が大きく増え、診療報酬の歳入増大により、負担金が減額となりました。

質 介護認定審査会の判定に対して苦情はないか。

答 苦情はあるが、介護度の区分変更も可能であるとの説明をしています。

質 介護保険事業で国からの財政調整交付金の過少交付（1059万円）について、長い時間的経緯があるが、早く議会へ説明があるべきか。



大野地区敬老会でお礼をのべる代表（撮影 奥永収氏）

きである。また、報道機関への発表はいつか。

答 給付費の支払財源を確保するため緊急的な措置を含め、基金から繰り入れ対応した。減額分を回復してもらえ

るように、国、県とやりとりする中で、議会への報告が遅くなった。報道機関への発表は、

きである。また、報道機関への発表はいつか。

きである。また、報道機関への発表はいつか。

決算認定の議会終了後に予定しています。

質 財政調整交付金の過少額は、次年度以降に全額交付されるのか。

答 過少額の金が特別交付金で22年度に交付される。

残りについても交付されるよう国に強く要望しています。

大星山井戸水 簡易水道の一元化が必要

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、9月17日に慎重に審議しました。

その結果すべてを全会一致で承認しました。主な審議経過は次のとおりです。

補正予算

質 住宅管理費で、白蟻防除はどこか

答 磯崎団地の1棟2戸分、主に床から下を防除します。

質 河川維持改良費で中川排水機場のポンプなどの修繕の県に対する負担率は。

答 大内川は県管理河川であり、負担は生じない。

中川は、町の普通河川であり、全体事業費の30%を町が負担しま

す。

質 湾岸建設費で県が発行する平準化債に対して町の負担金は、今後どうなっていくか。

答 県は湾岸整備事業をするため、平成8年から16年まで起債を発行している、その償還の負担を軽減するため平準化債を発行することにより町の負担率が変わっています。

質 体育館倉庫建替事業について、新倉庫の面積の根拠は何か。

答 既存施設は12坪であるが、現在の倉庫と武道館の空調室に入れている備品を収納するため、18坪で計画しています。

質 体育館倉庫建替費は一般財源となっているが、国体関連の補助はないか。

答 国体関連で市町村振興協会が、施設等の整備について補助金を出すようになっていきます。

質 補正予算が成立した時点で申請をし、確定後財源の変更を行いたい。

答 簡易水道の水質検査手数料の内容は。

質 地元の利用者からハートピアセンターなどへ給水する水が濁っている」と指摘があり、大星山の井戸水の水質検査をしました。

答 大星山の井戸水は簡易水道としての位置付けが不明確ではないか。

質 周辺地区の飲料水供給施設として位置付けました。

今後については、上水道として整備を検討し、現行の管理体制については、一元化を図っていきます。

決算認定

質 農業振興費で、ジャンボタニシ防除対策協議会補助金の内容は。

答 年1回、県とJ A、町で生息調査を行っています。

質 協議会はJ Aが事業主体で、薬剤のみを補助しています。

質 ハートピアセンター運営費で、水質検査の内容と施設の利用状況

答 21年度は5件あった。22年度は予算を増やし計上しており利用も増えています。

は。

質 タンク内に入る水を年1回検査しています。利用状況は、21年度は21回、410名の利用がありました。

質 有害獣防除柵等設置事業は何件あったか、また、P R不足ではないか。

答 21年度は5件あった。22年度は予算を増やし計上しており利用も増えています。



中川排水機ポンプ場



奥上正博 議員

質 福祉タクシー助成は

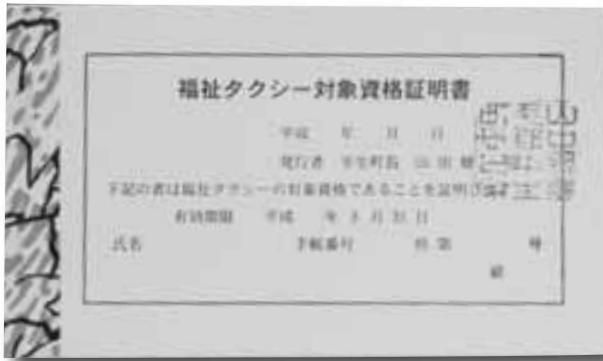
答 成果が上がるよう検討する

質

生活支援事業は、障害者の社会参加と平等を保障するために、全国どこの市町村で暮らしていても、必要な時に必要なサービスが利用できるようにすべきである。

当町の心身障害者福祉タクシー助成事業は、1年間で24枚の割引証発行となっている。

近隣市町の助成は、48枚となっている、当町も同等にすべきと思うがどうか。



答

町長

本町では、障害者が24枚、人工透析者は48枚交付しているが、利用率は、50%前後で推移している。

本町に必要な方に助成が行き届くよう調査をし、助成方法、回数等、助成の成果が上がるよう、これからの検討を重ねていきたい。

質 保育制度変更について問う

答 動向を注視する

質

国は、現行保育制度の幼稚園と保育園を全面的に解体して新しい「こども園」を新設しようとしている。

これにより、市町村は大部分の保育義務を放棄することになる。

「子ども・子育て新システム」を問う。

次に、宇佐木・平生保育園を統合し、民営化するとしている。

全体的に考えると必ずサービス低下につながる。町長の考えを問う。

答

町長

① 幼保一体化を含めて、制度、財源、給付について包括的、一元的な制度を構築することが大きなねらいで、市町村が重視されるというのは、大事なことだと思っている。

具体的な制度設計、動向を注視しながら対応していく。

② 「子供たちを支援していく」ということは、町政の基本になっているわけであり、保育がしつかりした中身になるよう、町としても十分努力していく。



民営化が検討されている平生保育園



岩本ひろ子 議員

質 財政基盤としての財源は

答 財源計画の枠組みをつくっていく

質

第四次平生町総合計画について聞く。

① 将来像の実現に向けた総合計画を実施していくためには、財政の健全性を確保し政策的な経費を生み出すかが鍵となる。

総合計画を確実に実行するための財源はどのように確保するのか。

② 雇用対策について行政自体が働く場を確保するための施策を講ずるべきではないか。



第四次平生町総合計画基本計画（案）

答

町長

① 法人税・固定資産税・たばこ税率の動向、町独自の自主財源の確保努力、こういったことを勘案しながら、基本的な財源計画の枠組みをつくっていく。

② 町内に存在する地場企業等と情報交換をしっかりとしながら、雇用のすそ野を広げていく努力、支援をし、地域の活力につなげていきたい。

質 町立図書館の運営は

答 より良い運営に努める

質

町立図書館は町民に読書の機会を増やし、生涯学習の場として必要なものである。

国の示した図書館の設置及び運営に関する基準では、図書館に対する理解と関心を高め、新たな利用者の拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信等を求めている。

近隣の市町の図書館では既にホームページを開設し、利用案内や蔵書検索システムが整備されている。

本町でも、情報化時代に対応した図書館運営が必要であると思うがどうか。

答

教育長

電子機器を使った情報発信については、近隣に比べると遅れをとっているのは、否めない事実であると思っています。

新着の図書案内についても、広報紙による情報提供の段階にあるため、早急に改善を重ねていきたい。

玄関を入って左側のフロアについては児童図書であふれている。利点を生かしながらより良い運営に努めていく。

他の質問

「地域の人材育成について」



児童書が充実している町立図書館の読書スペース



細田留美子 議員

質 平生町育英基金を動かせ

答 町と協議して制度見直しをする



通学する高校生

質

平生町育英基金の貸付を受けている人はここ数年0人から2人である。借りにくい制度となっていないか。国や県、民間に使いやすい奨学金がたくさんあるが情報を流しているか。

答

教育長 当町の育英基金が、十分利用されていない面はある。国、県等の貸し付け決定時期が遅いという指摘もある。育英制度の情報発信は不十分かもしれない。条例は昭和39年に制定されたもので、選定基準、延滞金の利率、採用方法等見直すべき条項もある。育英制度の存続か廃止か、資金の他への有効活用可否等については町長部局の決定事項で町と協議の上決める。

質 どうする職員の能力育成

答 研修と班編成により補完をする

質

役場は敷居が高いと思っている人が多い。福祉や税金関係は制度が次々変わったり、手続きが複雑でとまどうことがある。ひとり親家庭や障がい者、生活困窮者などに特に配慮が必要だと考える。

答

町長 来庁者の誰に対しても敷居が高くてはいけない。基本は挨拶だと職員を指導している。適時、適切な研修も行っている。新人研修はセミナーパークでの研修等色々なカリキュラムを組んでいる。異動に当たっての引き継ぎ書の作成も義務付けている。課内での班編成により、情報の共有をし、お互い業務の補完が出来るようにしている。「役場に行ったら気持ち良かった」という役場づくりを目指している。



丁寧な説明が求められる町民課カウンター



河藤泰明 議員

質 職員の町民に対する接遇改善を聞く

答 繰り返し注意していく

質 職員の接客態度について、町民からのクレームがなくならない現状を、最高責任者としてどのように考え、また、今後をどのように考えるか。

年始の町長の言葉や、今までに策定した「地方分権時代に臨む職員の心得7か条」や「人材育成の基本方針」だけでは接遇の改善・向上が難しいのであれば先進的な事例を参考にしているのか。

答 町長

今まで民間の講師を呼んで講習会をやったこともあるが、単発に終わっている。一人でも対応の悪い人がいると全体の評価の低下につながる。とにかく粘り強く、今後ともに、色々な機会を捉まえ、繰り返し注意するし、研修にも参加するよう促し、職員全体のレベルアップに努めていきたい。



窓口をさがす来庁者

質 山田町政三期目の成果と今後の施策は？

答 緊急行財政プログラムにより大きな成果



質 この4年間の達成度はどのくらいだと考えるか。

次期町長選は、どのような点を中心に施策を訴え、どのような平生町を構築したいのか尋ねる。

これからの平生町には、何が必要だと思うか。また、町民が求めている町長とはどのような人物だと思うか。

強いリーダーシップと強い信念を持ち、新しい発想から生まれる町政を進める町長が求められていると思うが、どう考えるか。

答 町長

三期目の成果としては自主防災組織、防犯活動の組織化、学校の耐震化等がある。

財政問題の重要課題として緊急行財政改革プログラムを推進し、過去5年間で十二・五億円の節減を達成。

今後の重点施策は、第五次行革と第四次総合計画を両輪として住みよさの実感できる町を作る。

求められる町長像は分らないが、地味でいいかな。



平岡正一 議員

質 核兵器の廃絶に向けサイレンの吹鳴は出来ないか

答 十分検討していく



防災行政無線（サイレン）の有効活用を

質 核兵器の廃絶に向け
た取り組みが大きな波
になって世界に広がって
いる。
非核三原則の法制化
と核の傘からの離脱が
強く求められている。
平和市長会議は、
二〇二〇年までに核兵器
を廃絶することをめざ
している。
町長もこの会議に参
加しているが核兵器廃
絶の取り組みをもっと
されるべきだ。
その取り組みの一環と
して8月6日に願いを込
めてサイレンの吹鳴は出
来ないか。

答 町長
将来、唯一の被爆国
日本として目指す方向
は、核のない社会をつ
くること。
私自身も被爆者を身
近に感じながら、核の
ない世界を目指して行
動し、訴えていく。
サイレンの吹鳴とい
うことにはつながらな
いかもしいないが、8
月に何か形のあるもの
を十分検討していく。

質 河川の雑草対策、防災上も急ぐ必要

答 県に要望していく

質 町民の皆さんから熊
川や大内川の雑草対策
を求める声が多く寄せ
られている。
雑草が大雨の時には
災害の要因になる。
特に大内川桶門の内
側はあとわずかで全面
が雑草になると思われ
る。
全面に雑草が繁茂
すると上流からのゴミ
や草で土手が出来て河
川の機能がなくなる。
浚渫も含め防災対策と
して急ぐべきではない
か。



雑草の繁茂する大内川桶門の内側

答 町長
防災対策の観点から
毎年大きなテーマのひ
とつである。
草の刈り放しが原
因で2次災害につなが
ることもある。
下流の流水面がだん
だん少なくなっている
ことも、建設課を通じ
て、しっかりチェック
をしながら、県に強く
要望していく。
他の質問
「これでいいの
か、行政のあり方」



柳井靖雄 議員

質 次期町政に対するマニフェストを問う

答 住み良さが実感できるまちづくり

質 この4年間でできなかったものを、もう4年間引き延ばすのか。

答 策定中の第四次の総合計画と第五次の行革大綱、これを車の車輪にして、しっかりと行政改革を最重要課題に据えながら、住みよさが実感できるまちづくりを進めていく。

質 再選の暁は、今後どのようにして町民の安寧を図り、推進するのか尋ねる。

答 町長 それとも、一歩前へ進んで、これをやるというものがあれば尋ねる。



質 起爆剤が必要になってくると思う。指摘の点を踏まえてやっていく。

答 町長 地域の活性化のため、若者の働ける場所を確保するために工場誘致は考えられないか。

質 全体的な財政状況も踏まえながら、大きな方針に基づいて政策を打ち出す。

答 町長

産業文教常任委員会 現場視察



耐震化が進む平生中学校の屋内運動場

8月25日、産業文教常任委員会で、耐震改修のため建替中の平生小学校普通教室棟の建築現場と、改修中の平生中学校屋内運動場の工事現場を視察しました。

平生中学校は現場での視察となりました。担当者から、スケジュール通り問題なく作業が進んでいるとの説明を受けました。委員からは、工法などの質問がありました。また現場での視察だったため作業員の方からも話が聞けました。酷暑の中で苦労は想像以上大変であることを再認識しました。

議会研修報告

第11回

柳井地区広域市町議会議員研修

柳井地区広域市町議会議員研修会（主催・柳井地区広域市町議会議長会）が7月28日、ベルゼで開催された。行政の前例や慣習を排除できる地方議会の役割を学んだ。

講師に前埼玉県志木市長、穂坂邦夫氏を迎え「地方議会改革への挑戦」地方から国を変

える」と題した講演を聞いた。

同氏は地方公務員から市議会議員・県議会議員を経て、平成13年から志木市長を務めた経験の持ち主である。その多彩な経験から、議会がリードする新たな自治体づくりの課題としくみについて熱く語った。



講演を聴く議員

平成22年度町議会議務研修会



町議会議務研修会（主催・山口県町議会議長会）が7月23日、山口県教育会館（山口市）で開催された。

この研修は、県下の町議会議員の資質向上のため毎年開かれている。

まちづくりや政策形成実現は、そのまことに合った条例設定が不可欠な条件である。

講師は財団法人地域開発研究所研究員、牧瀬稔氏を迎え、「議員が提案する政策条例のポイント」と題した講演を聞いた。

議会の動き



(H22・6/17)
H22・9/2

6月17日	第3回定例会	8月4日	郡議会広報連絡協議会第15回定期総会
6月17日	議会広報広聴調査特別委員会	8月24日	総務厚生常任委員会
6月25日	議会運営委員会	8月25日	産業文教常任委員会
6月29日	議会全員協議会	8月31日	議会運営委員会
7月7日	議会広報広聴調査特別委員会	9月2日	議会全員協議会
7月14日	議会広報広聴調査特別委員会	7月28日	第11回柳井地区広域市町議会議員研修会
7月21日	総務厚生常任委員会	7月23日	町議会議務研修会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内
- ・ 締切日 平成22年11月30日
- ・ 提出先 平生町役場議事事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

今年の夏は、猛暑が続きましたが、涼しい秋風の吹く季節となりました。

私たちの暮らしは、増税によるたばこの大幅値上げや保険料率の引き上げ、電気料金の値上げなど家計に冷たい秋風が吹いています。

15年ぶりの円高進行やエコカー購入補助金などの景気刺激策の終了に伴い、景気の先行きが懸念されています。政府は追加の金融緩和策を決定し景気の下支えをするようですが、私たちが実感できる景気回復を切望しています。

運動することが心地よい気候となり、夕暮れ時にウォーキングやジョギングをされる方が増えると思います。交通事故には、気をつけて下さい。

大井哲也